

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	20763
事業名	パートナーシップ排雪費					
評価担当課	所属名	建)土木部 雪対策室事業課				
	課長名	井上 実	担当者名	田村 尚己	電話番号	011-211-2682
施策名	主	雪と共存した暮らしの推進				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	○ 対象 ● 対象外		
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ● 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	冬期道路の路面管理を効果的かつ効率的に行う。			
		長期	冬期道路の路面管理を効果的かつ効率的に行う。			
	取組内容	平成30年度に策定した「札幌市冬のみちづくりプラン2018」に基づき、地域から申請のあった幅員10m未満の生活道路について、地域住民・除雪業者・札幌市が協力しながら生活道路の排雪を行う。				
	実施結果	地域からの申請に基づき、生活道路(申請路線)の排雪を行った。なお、申請地域は、排雪費用の一部を負担している				
事業実施における工夫点	将来にわたり安定した除雪体制を確立するため、平成22年度より道路維持補修業務と除雪業務の一体発注を行っている。(夏冬一体化) また、ホームページ等で制度の活用の周知を図っている。					
対象者	市民	開始	0 年度	終了	0 年度	
関連法令・条例・要綱等	除雪パートナーシップ制度実施要領					
他都市の状況	市民1人当りの除雪費(道路除雪費÷人口 令和3年度実績) 札幌市 10,454円/人・石狩市 19,797円/人・江別市 9,896円/人					

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	1,899,674	2,124,278	4,314,126	2,099,444	
うち特定財源	0	0	0	0	
人工	33.0	33.1	33.1	29.3	
人件費	237,600	238,320	238,320	210,960	
計(事業費+人件費)	2,137,274	2,362,598	4,552,446	2,310,404	
事業費の内訳	令和3年度決算	事務費:3,030千円、委託料:4,311,096千円			
	令和4年度予算	事務費5,126千円、需用費1,524千円、委託料:2,092,794千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	生活道路排雪支援団体数(パートナーシップ排雪、市民助成ト)			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	1,231団体	1,231団体	1,299団体	1,299団体	
活動指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1	指標名	生活道路排雪支援延長(パートナーシップ排雪、市民助成ト)			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	2,549km	2,549km	2,700km	2,700km	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	B	度重なる大雪に見舞われ、除排雪作業に大幅な遅れが生じたことから、緊急対応として、幹線道路やバス路線を最優先にした除排雪を行うとともに、生活道路においては、パートナーシップ排雪の施工方法を変更して作業のスピードアップを図った。 また、排雪作業の効率化を図るため、北海道開発局やNEXCO東日本を通じて、ダンプラックの支援を受け実施した。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	道路の機能や幅員に基づいた道路種別ごとに路面管理水準を設定し、効果的かつ効率的に除排雪を行っていることから、平時の事業規模は適切である。 ただし、大雪など、気象状況に左右される面もあることから、大雪に備え、あらかじめ関係機関や関係団体との協力体制を形成する。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	受益者負担の原則を踏まえて、地域住民・除雪業者・札幌市の3者がそれぞれの役割を分担している。排雪作業は、市内を23地区に分割し、その地区ごとに複数の除排雪業者が作業種目(車道除雪・歩道除雪・運搬排雪・パートナーシップ排雪・凍結路面対策等)を連携させ、一括して効率的・効果的・多角的に実施しており、妥当な手法である。			
対象者の満足度 (対象者のニーズにしているか)	B	市民意識調査(令和3年度)では、「除雪に関する事業について、よくやっていると思うか」との設問に対して、「そう思う・ある程度そう思う」が48.0%と全施策で4番目に高く、「思わない・あまり思わない」が26.0%となっている。 一方で、「除雪に関する事業について力をいれてほしいと思うか」との設問に対して、「そう思う・ある程度そう思う」が73.5%と全施策で1位となっており、全体として、「満足度が高く、期待度が高い」施策であると位置づけられる。			
市民参加の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応	<input type="checkbox"/> 回答 <input checked="" type="checkbox"/> 反映	
今後の改善点	札幌市大雪対応検討会議での検討結果を踏まえた今後の改善点 ・早期排雪に向けた判断基準を設定したうえで、幹線道路の排雪作業の前倒しと強化を実施 ・大雪時にパートナーシップ排雪を中止し、札幌市が生活道路の排雪を実施するなど、状況に応じた臨機な対応を実施 ・雪堆積場の拡充の推進 ・大雪に備え、あらかじめ関係機関や関係団体との協力体制を形成				
前回の評価	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0 千円	
今回の評価	<input type="radio"/> A <input checked="" type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	公共交通機関の運休や市内各所での渋滞発生、生活道路除排雪の大幅な遅れなど、市民生活に大きな影響が及んだため。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input checked="" type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 休止・廃止 積雪深や気象状況、排雪作業の進捗状況などのフェーズに応じた対策等を実施 ①排雪作業の前倒しと強化 ②雪堆積場等の増強 ③市民・企業との協働の取組み			
	予算	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> その他 大雪対策に備え、必要な予算措置を行う。		見直し効果額	0 千円